

摘 録

会 議 名 令和4年度第2回刈谷市歴史博物館協議会

日 時 令和5年2月14日（火） 午後1時30分～2時30分

場 所 歴史博物館 1階講座室

出 席 者 協議会委員：堀江登志実委員、山田孝、真島聖子、田中仁、石橋保尚、深谷理恵、
成田年秀

※西宮秀紀（会長）、近藤慎太郎委員は欠席（敬称略）

事 務 局：鷹羽課長、田代館長、中尾館長代理、鵜飼学芸員、長澤学芸員、河野学
芸員、永井学芸員、野村学芸員、水野学芸員

内 容

1 あいさつ

2 議題

（1）会長及び会長代理の選出について

西宮秀紀委員より事前に立候補の意思を承っており、且つ委員の互選により、西宮委員が会長に選任された。

堀江登志実委員が会長代理に選出された。

（2）令和4年度の状況について

事務局より令和4年度12月までの実績を報告した。

報告について委員より質問・意見が上がった。

<企画展「伊勢物語とかきつばた」について>

（G委員）入館者数が多いように見えるが何か特別なことをしたか？

（事務局）特別なことは国の貸与促進事業を利用したことが挙げられる。広告にも特に名古屋方面に力を入れ、金山駅に大型広告を展開、地下鉄にも広告を出した。

<入館者数について>

（F委員）安城市と比較して入館者数はどうか？

（事務局）単純な比較は難しい。安城は市民ギャラリーもあるので、安城市の方が多と思われる。当館は年間三万が目安となり、大分達してきているが、今後数を伸ばす努力をしていく。

<出前講座について>

（G委員）出前授業の時は実物の資料を持っていくのか？

（事務局）題材に合わせて、資料を持っていくなどの取り組みをしている。

（G委員）愛知大学の講義でパワーポイントでの講義だけでなく、実物を使って話すと学生の反応が良い。

（A委員）岡崎でも地域講座でその地域の物を持って話をすると受けが良い。細かい要望にもなるべく応えていけると良い。

（D委員）子供も触れるものを持ってきてもらえると良い。触れられるものもあると思うので、検討してほしい。

（事務局）縄文土器などで触れるものもある。そうしたものを用意してチャレンジしていきたい。

（E委員）以前、豊橋の小学校で昔の道具が常置されており、触れるようになっていた。説明がな

くとも触れられるものが傍にあると記憶に残る。各校に障りのないものを巡回展示したらどうか。検討してほしい。

(事務局) 要望があれば考えたい。

(E 委員) 貸出可能な資料のリストなどがあると良い。

(3) 令和5年度の予定について

事務局より令和5年度の予定を報告した。

報告について委員より質問・意見が上がった。

<企画展講演会について>

(B 委員) 資料には書かれていないが、企画展中に講演会はあるのか?

(事務局) それぞれの企画展で2回ほど予定している。

(B 委員) 今年度の講演会の申し込み状況は?

(事務局) 基本的に定員オーバーで50人定員のところ、70人に増やすなど対応をしたものもある。

<依佐美送信所について>

(G 委員) 依佐美送信所資料は、産業遺産学会にとっても貴重な資料である。学会と協力して調査しているのか?

(事務局) 当館は文書が中心となり、依佐美送信所記念館はほぼすべての資料が展示されている。

以前中部産業遺産学会と依佐美送信所ガイドボランティアの会が共同で報告書を出したことはある。

(B 委員) 以前ガラス板の写真資料があったと思うが、それはどうなったか?

(G 委員) ガラス板に残すということは貴重なもの。デジタルデータに残してほしい。また送信所のVRがあると、どのように立っていたかなど当時の形がわかると思うので是非検討課題としてほしい。

(事務局) 資料の確認を行い考えていきたい。

<常設展の展示替えについて>

(A 委員) どのくらいの規模で、どういうのもの(実物か、レプリカか)を展示しているのか?

(事務局) 一つの資料は半年程度で変えている。レプリカが少ないため実物が中心となっている。

(A 委員) 購入資料や話題になったものなどどんどん展示してほしい。

<参加体験について>

(C 委員) 津島市には津島検定というものがある。規模は小さくても、今話題になっている刈谷城や於大などを刈谷でも取り上げてやると良いのではないか。

(事務局) 当館では子供歴史相談の場を設けており、そこに来る歴史好きの子供などは学芸員と話す生き生きする。何周年かの機会などで検討したい。

(4) 資料の購入について

令和5年1月24日「江戸より長崎・五島まで海路図」購入の是非を問う資料購入検討委員会を開催し、専門家の意見により購入決定したことを報告した。

(A 委員) 資料購入検討委員として出席した。江戸から長崎までの海路が描かれ、交通史、流通を

考えるうえで興味深い資料である。色々な活用の範囲があると感じた。

(5) 博物館実習開催について

令和5年度8月から博物館実習を開催する件について事務局から説明をした。

(G 委員) トヨタ産業技術記念館では8月の実習は現時点でもう決まっている。今後は早い段階で準備をすると良い。

また刈谷市歴史博物館として、何を重点的に学べるのか、特徴を出すと良いと思う。

(A 委員) 岡崎市美術博物館では大学の方で取りまとめてもらっている。市外の受け入れはあるか？

(事務局) 市外も受け入れる予定。大学の教授にアドバイスをもらったところ、現在はホームページでの募集が多いとのことだったので、ホームページでの募集とした。

(G 委員) トヨタ産技は大学経由で受付をしている。1年目は良いが、今後増えることも考えられる。館で受けると大変なので、大学で調整してもらうのが良いと思う。

<アンケートから>

(B 委員) 【別紙1】の自由記入欄で自然史について書かれている。刈谷での唯一の国指定はカキツバタであるし、今すぐできなくても検討していくことが必要ではないか。改修の時が来たら、そのほか中世のものなど展示する方法を考えてほしい。また駅からのアプローチが分かりにくい。

(G 委員) 駅と博物館が線につながっていない。ウォーキングコースを整備するなど周りを見ながら駅から博物館まで歩いていけるような線をつなぐことを考えられたら良い。

(事務局) 鉄道ウォーキングなどを参考にして刈谷駅、刈谷市駅、逢妻駅が繋がると良い。各問題のことは認識しており、様々な課題に対応していく。

<次回の協議会日程について>

(事務局) 次回は令和5年5～6月頃に開催する。